

(青森県) 五所川原市広報

市政ニュース

(毎月 5. 15. 25日発行) 第129号 一部 2円

発行所 五所川原市役所 印刷所 陸奥印刷株式会社

五所川原の草創 ⑤

津軽考古学会

会長 秋元省三

このようにして、五所川原周辺は現在の基礎を固めていったのですが、元禄4年には五所川原堰が完成している。さらに元禄11年金木新田に着手し、宝永2年に開墾に成功している。

宝永元年に飯詰組御代官阿部亦右工門の計画によつて、福岡境の沢、鎌の沢に溜池をつくり、排水用として阿部堰を穿つて俵元新田の開拓に着手したが、その功績をねたむ者のあらぬ申し立てによつて正徳4年、阿部氏は入牢、欠所となつているのは遺憾千万である

このように新田開墾には、さまざまなことからや苦労が伴つたが、享保12年に、豊成、浅井、福山、富栴、末広、米田、富川、水野尾の俵元新田8カ村の開拓に成功したのです。

金木新田と俵元新田は共に五所川原新田開墾の派立頭をつとめた鳴海勘兵衛が派立頭をしている。

ここで三新田について一言申しのべておくが、三新田を木造、金木、五所川原をもつてそう呼ぶ人もあるが、これは誤りです。五所川原は、貞享の津軽総検地以前の開村ですから三新田には入らないのです。

木造町にある三新田神社は、木造、金木、俵元三新田の氏神をまつつているのです。

明日を築く

近代化農業

北部地区 ②

区画整理について、前号でそのあらましを述べたがその目的、実施の結果、その将来性について、いまだし、くわしく書いてみたいと思います。

衆知のように、農業の近代化は、なんといつても、『省力多収』が目標です。その手段として、今後の営

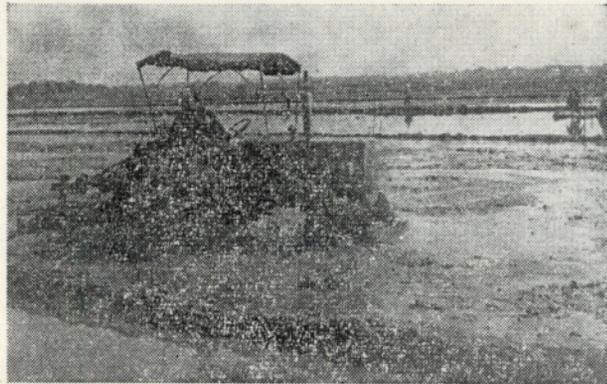
農は機械化して行かなければならないことは当然ですが耕地の区画を整理することは、土地の利用を無駄なくすることだけではありません。かりに、それだけが目的だとすれば、区画の規模も、従来どおり五アールか一〇アールで充分です。今回、北部地区で実施した区画整理は、地形上やむを得ない箇所は別として、

三〇アールを目標に実施されております。これでも、いざ大型トラクターで耕起、代かきとなると、なお狹隘を感じます。実際、作業にあつた人たちの体験談では、五〇アール位の広さが欲しいといつております。その理由としては、機械の作業能率からみて、区画が狭い場合は、機械の方向転換に要する時間が意外に多く、稼働時間の三〇％から四〇％にもおよび場合もあるということです(青森県農業機械管理事務所調)

機械化には大きな区画が必要

区画は、大きくなければいけないという考え方は、近代営農は、機械化していかねばならないということ、いいかえれば、基盤整備ということ、ただ単に耕地の区画を整理して作業能率を高めるとか、利用度を高めるといふことだけでなく、日本農業が、国内池産業との格差を是正し世界経済の立ちおくれを取りもどすための基盤を築くという、大方針なのです。次号は、この事業実施にあつて、その経過、問題点などを取りあげてみたいと思います。

(つづく)

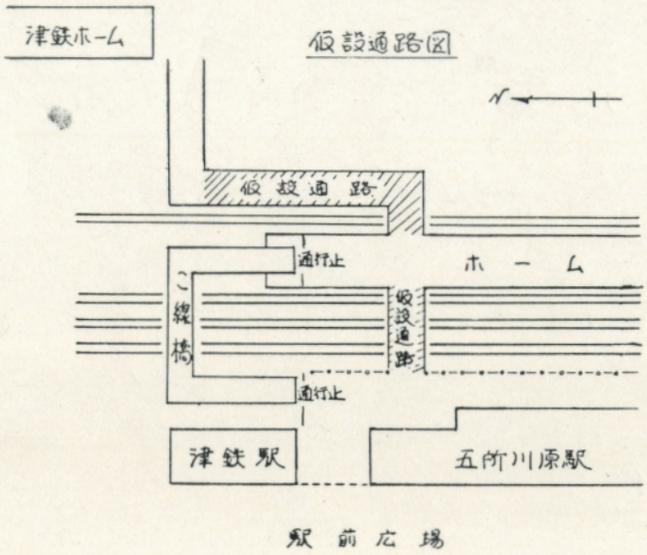


〔写真… 区画整理された水田を大型トラクターは活躍する〕

駅のこせん橋 来春完成

利用者が協力して事故を防ごう

私たちが利用している五所川原駅の跨線橋（こせんきょう）が、新しくなります。この跨線橋は、さる六月の新潟じしんで被害をうけています。現在、枕木によつて支えられています。一日平均八五〇〇人、とくに冬期間は一〇、〇〇〇人以上の人たちが利用されていますが、このままの状態では危険なので、今月から工事にかかり、来春三月末には、近代的な跨線橋となつてお目見えします。工事中は、ホーム南側に



- ① 時間に余裕をもつて、早めに駅へ行くようにしましょう
- ② 改札は早めにうけて、ホームで待つようにしましょう
- ③ 通路では、お互いに交通道徳を守つて、押しあわないようにしましょう
- ④ 乗降には、きめられた通路以外はとらないようにしましょう
- ⑤ 構内の通行は、危険ですから、とらないようにしましょう

23・29日に 防火パレード
十一月二十三日（第二回目の大火記念日）、十一月二十九日（第一回目の大火記念日）の両日午後七時から八時まで、消防車がサイレンを鳴らして、市内を防火パレードします。

火事と間違わないようにしてください。
火事は、私たちの財産をいつしゆんのうちに灰にしてしまいます。また、尊い生命まで、うばわれることもあります。
お互に、火のもとには、充分注意して、明るく楽しい毎日をおくりましょう。

行政の苦情・要望は

行政相談委員に

行政についての国民の苦情や意見、要望などをききこれを円満に解決し、行政の民主化をはかるために、行政管理庁は、市町村に行政相談委員をおいています

私たちの市には、藤田平太郎氏（上平井町）、三上善蔵氏（寺町）の二人の行政相談委員がおります。明るい生活をおくるために、どしどし利用しましょう。

役所内の意見が違つて補償がもらえなかつた

松本さんは、建設工事に従事中、頭に強い打撲をうけたことが原因となつて、テロカン（テロ）を誘発し、三十七年から労働者災害補償保険法による療養補償と、休業補償をうけてきました。



（藤田氏）

ところが、どうしたことが、三十八年分から補償費を打ち切られてしまいました。そこで、夫が入院中で収入がなく、生活も困り入院費の支払もできないので奥さんは、労働基準監督署に訴えましたが、要領をい



（三上氏）

年賀状の 差しだし準備を

年賀状の差しだし時期が近づきました。せつかくの年賀状が、あて名が完全にかかれていないため、迷子になったり、元旦に配達されない、というこのないようになってしまう。

年賀状は、あて先の都道府県名、市町村名、町名、番地まではつきりかき、同居人や子供あてにだすときは、かならず世帯主の氏名を肩がききましょう。

差出人も自分の住所、氏名を省略しないで、正確にかくことにしましょう。

年賀郵便のさしだしは、十二月十五日から二十八日までとなつておりますが、遠いところにだす年賀郵便は十二月二十二日までに、だすようにしましょう。

また、小包は十二月十五日までになさすようにしましょう。

そこで行政相談委員は、松本さんの家庭の困つてい

その結果、テロカンが打撲の原因とした、業務上の傷害であることが、再確認され、休業補償費や入院の療養費が、支払われることになりました。

× ×

このように、行政相談委員は、無料で、秘密を守つて相談のつてくれます。